

「 π 電子系有機ラジカル種に関する最近の研究」

久保 孝史 教授(大阪大学大学院理学研究科化学専攻)

2016年5月26日(木曜日)16:20-17:50 12号館208室

要旨

有機ラジカル種は、その反応性の高さから、複雑な骨格を持つ分子の合成に用いられてきた。また、不対電子の特性を活かして、分子磁性体や分子性導電体など、機能性材料の構成要素としても重要な役割を果たしてきた。本講演では、 π 電子系有機ラジカル種の新たな特性を探る最近の研究について紹介する。

